

内閣総理大臣杯争奪 第53回西日本実業柔道団体対抗大会

対戦成績

※勝敗の表示について

便宜上、勝敗の表示は以下の記号としています。

- 一本勝 ○
 技あり 指導3 ①
 有効 指導2 ②
 判定 ●

男子第2部

第1回戦

	東レ滋賀	③	—	2	日経サービス
(先鋒)	表 剛史 2段		小内刈	○	受川 正敏 3段
(次鋒)	岡田 建彦 5段	○	内股		木下 貴允 3段
(中堅)	木藤 翼 2段	○	内股		倉田 良太 2段
(副将)	和久田裕人 3段		指導2	②	遠矢 大将 3段
(大将)	藤田 勇心 2段	②	優勢勝		宮崎 直也 3段

	新日鐵住金大分	1	—	③	錦秀会阪和病院
(先鋒)	富田 京平 初段		大内刈	○	阿墨 良晃 初段
(次鋒)	梶原 康廣 2段		引分		久留 廣人 初段
(中堅)	姉川 優汰 2段		指導3	①	本郷 力正 2段
(副将)	小城 佑也 初段		優勢勝	②	今里 満 4段
(大将)	木切倉康太 参段	○	支釣込足		小倉 拓磨 2段

	同志社WRJC	2	—	③	近畿通関
(先鋒)	新谷 剛志 3段		優勢勝	②	立花 将志 2段
(次鋒)	藤本 将史 3段		引分	○	珠玖 龍市 4段
(中堅)	武石 光陽 3段	①	指導3		窪田 皓介 3段
(副将)	小林 大起 3段	○	袈裟固		山川 陽平 2段
(大将)	小笠 浩史 4段		上四方固	○	林 未来 2段

	日柔整請求サービス	1	—	②	戸高鉦業社
(先鋒)	山下 要 3段		払腰	○	西岡 嵩光 3段
(次鋒)	木村 元太 3段	○	掬投		乙名 将吾 4段
(中堅)	永田 尚道 5段		優勢勝	①	高橋光一郎 5段
(副将)	金山 裕基 2段		引分		崎村 和幸 2段
(大将)	谷本 竜孝 3段		引分		細田 真史 3段

	滋賀刑務所	③	—	1	大阪ガス
(先鋒)	四宮 洋明 3段	②	優勢勝		中山 幸久 2段
(次鋒)	永谷 貴信 3段		優勢勝	②	伊場 友哉 3段
(中堅)	田村 雅人 4段		引分		浅田 健志 2段
(副将)	生元 理資 4段	○	払腰		磯川 章磨 3段
(大将)	前高 知哉 3段	②	優勢勝		松本 邦彦 2段

	九電工	③	—	1	日本エースサポート
(先鋒)	森 貴頭 4段		優勢勝	②	大辻 康太 3段
(次鋒)	篠原 渉 3段	②	優勢勝		大西 勇太 2段
(中堅)	中島 大勝 3段	○	払腰		金丸 泰章 2段

(副将)	波多江純平	3段	○	縦四方固	辻下 伸介	4段
(大将)	石橋 佑哉	3段		引分	窪田 拓耶	3段

第2回戦

	東レ滋賀		④	—	1	錦秀会阪和病院
(先鋒)	宮田 京平	2段		袈裟固	○	阿墨 良晃 初段
(次鋒)	梶原 康広	3段	○	縦四方固		久留 廣人 初段
(中堅)	木藤 翼	2段	②	指導2		本郷 力正 2段
(副将)	和久田裕人	3段	○	上四方固		今里 満 4段
(大将)	藤田 勇心	2段	①	優勢勝		藪井 隼人 3段

	十全会おおりん病院	1		—	③	近畿通関
(先鋒)	阿部 竜太	2段		袖釣込腰	○	立花 将志 2段
(次鋒)	黒肥地良明	2段	○	支釣込足		珠玖 龍市 4段
(中堅)	津志田稔宏	3段		引分		窪田 皓介 3段
(副将)	中山 力哉	3段		大外刈	○	山川 陽平 2段
(大将)	松岡 晃史	2段		体落	○	林 未来 2段

	戸高鉦業社		③	—	0	滋賀刑務所
(先鋒)	西岡 嵩光	3段	○	支釣込足		四宮 洋明 3段
(次鋒)	乙名 将吾	4段	○	掬投		永谷 貴信 3段
(中堅)	高橋光一郎	5段	○	払腰		田村 雅人 4段
(副将)	崎村 和幸	2段		引分		生元 理資 4段
(大将)	細田 真史	3段		引分		前高 知哉 3段

	三菱レイヨン	1		—	④	九電工
(先鋒)	出本 宣弘	2段		背負投	○	森 貴頭 4段
(次鋒)	永井 陽平	2段		内股	○	篠原 渉 3段
(中堅)	奥屋 俊則	初段		上四方固	○	中島 大勝 3段
(副将)	天本 豊	2段		背負投	○	波多江純平 3段
(大将)	杉本 脩	2段	○	不戦勝		石橋 佑哉 3段

準決勝

	東レ滋賀		④	—	1	近畿通関
(先鋒)	表 剛史	2段		反則負	○	立花 将志 2段
(次鋒)	岡田 建彦	5段	②	優勢勝		珠玖 龍市 4段
(中堅)	木藤 翼	2段	○	横四方固		窪田 皓介 3段
(副将)	和久田裕人	3段	○	上四方固		山川 陽平 2段
(大将)	藤田 勇心	2段	○	不戦勝		林 未来 2段

	戸高鉦業社		②	—	1	九電工
(先鋒)	西岡 嵩光	3段		優勢勝	②	森 貴頭 4段
(次鋒)	乙名 将吾	4段	○	腕挫十字固		篠原 渉 3段
(中堅)	高橋光一郎	5段		引分		中島 大勝 3段
(副将)	赤迫 諒介	5段		引分		波多江純平 3段
(大将)	細田 真史	3段	○	払腰		林 直士 3段

決勝

	東レ滋賀		②	—	1	戸高鉦業社
(先鋒)	表 剛史	2段		払腰	○	西岡 嵩光 3段

(次鋒)	岡田 建彦	5段	○	内股	乙名 将吾	4段
(中堅)	木藤 翼	2段		引分	高橋光一郎	5段
(副将)	和久田裕人	3段		引分	赤迫 諒介	5段
(大将)	藤田 勇心	2段	○	足払い	細田 真史	3段

＝戦評＝

決勝戦は、強敵・近畿通関を大差で破り勝ちあがった東レ滋賀と重量級を多く配し接戦をものにしてきた戸高鉦業社との対戦となった。

<先鋒戦> 両者ともに左組み。東レ滋賀の60kg級の小柄な表が戸高鉦業社の巨漢西岡に対し、組んではすぐに技をかけ、果敢に挑むが、1分15秒偽装的攻撃ととられ指導を与えられる。その直後、1分22秒、西岡は右の釣手で表を引きつけながら左手で表の左腕を押しえ込み払腰に入れば、表の体は畳にはずみ西岡の一本勝。

<次鋒戦> 東レ滋賀の岡田は左、戸高鉦業社の乙名が右のけんか組手。体格は岡田がやや勝るが、似た体格同士の対戦。両者、組み手を探りあいながら慎重な出だし。岡田が左の釣手を乙名の右の釣手の上から持ち制しようとするが、乙名も背負投で対抗する。2分2秒、引き手を握った岡田が今度は釣手を下から持ち変えて乙名の上体をすり上げるようにしながら、腰に乗せて跳腰気味に入れば乙名の体は一回転して畳を背負う。岡田の一本勝。

<中堅戦> 両者左のけんか組手、巨漢同士の対戦。高橋は奥襟を持って、内股に入ろうとするが、木藤は両襟を持って、右手で高橋の胸をつき入らせない。木藤も時に組手を握りかえ、内股に攻めるが、両者ともに決めてがなく、時間切れ引き分け。

<副将戦> 大兵の東レ滋賀の和久田に対し、戸高鉦業社の赤迫は78kgクラス。和久田、何とか赤迫を捕まえようとするが、赤迫もしっかりとは組ませない。逆に背負投でもぐりこみ、和久田が崩れたところを腕をとり関節に決めようとする。中盤、赤迫が巴投に入ったところを和久田が小外刈に合わせたように見えたが、判定はなく、両者ともに決め手をかくまま時間切れ引き分け。

<大将戦> ついにこの試合で優勝が決まる。共に右組み。体格では戸高鉦業社の細田が東レ滋賀の藤田に若干勝る。パワーのある細田、藤田の奥襟をはたいて足を払いながら体落と猛然と攻める。藤田が圧力に抗しきれず前に崩れる場面もあり、1分20秒、藤田に指導が与えられる。その後、藤田も反撃、釣手をがっちり引いて小内刈で細田の右足をはらって、左足を出させてしきりに大内刈に入ろうとする。1分58秒、細田がこれに対抗して、藤田の足を刈ろうと右足を上げた瞬間、小外刈気味にその足を払えば、細田はもんどりをうって倒れる。藤田が鮮やかな一本勝で大将決戦を制し優勝を決めた。